

# Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	社会学					授業形態	講義		
科目コード	120510	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員		アクティブラーニング	○
担当教員名	林田 康子							ICT活用	
授業概要	<p>この授業は、家族社会学の知見に基づいた「家族」をテーマとする社会学の授業である。今日、家族は従来の、われわれが当たり前と考えていた家族のあり方から変化してきている。では、どのように変化しているのか、変化を促したものは何か。さらにわれわれ個人は、どのような社会的状況のなかで、どのように行動、あるいは適応して生きているのか。この問いについて考えていくのが本授業の目的である。晩婚化・未婚化、少子化、貧困、就労やLGBTなど、現代の家族に関する社会現象や社会問題を手がかりに、家族と社会的状況との関係を考え、改善の方向を探る。主な分析視点はジェンダーである。</p>								
関連する科目									
授業の方法と進め方	<p>毎回の授業にて、アクティブラーニング型の授業を導入する。基本的にはテキストと資料を使用した講義の形態をとるが、授業中は随時学生に質問をしたり、データを分析してもらい、対話型の授業を行う。また、各テーマ（各章）の終了時に小テストを行い、問題提起されていることの理解を促す。</p>								
授業計画【第1回】	<p>序論-1 社会学の分析方法 社会学とは何かということについて、分析方法から解説する。</p>								
授業計画【第2回】	<p>序論-2 社会調査 社会学とは何かということについて、社会調査の方法から解説する。</p>								
授業計画【第3回】	<p>家族を読み解く視点-1 家族の多様化と社会制度 現代社会における家族と制度との関係について学ぶ。</p>								
授業計画【第4回】	<p>家族を読み解く視点-2 近代社会の編成原理とジェンダー 近代社会とジェンダーという概念について学ぶ。</p>								
授業計画【第5回】	<p>家族の歴史的变化-1 近代家族 家族が歴史的・地域的に多様であることについて学ぶ。</p>								
授業計画【第6回】	<p>家族の歴史的变化-2 法制度と産業構造の変化 近代社会における家族をめぐる社会的状況の変化について学ぶ。</p>								
授業計画【第7回】	<p>家族・貧困・福祉-1 貧困の概念・貧困の女性化 家族の貧困を取り上げ、貧困が社会的な問題であることについて考える。</p>								
授業計画【第8回】	<p>家族・貧困・福祉-2 日本の社会保障制度 貧困と社会保障制度の関係について学び、今後の課題を考える。</p>								
授業計画【第9回】	<p>結婚-1 結婚の機能と制度・未婚化 結婚を機能と制度の側面から捉え、現代社会における結婚の変化について学ぶ。</p>								
授業計画【第10回】	<p>結婚-2 離婚の現状と制度、パートナーシップの多様化 離婚に関する現象と制度、およびパートナーシップの多様化について学び、今後の課題を考える。</p>								
授業計画【第11回】	<p>就業と家族-1 男女の就労・労働慣行・制度 男女の働き方の違いと労働慣行・制度との関係について学ぶ。</p>								

授業計画 【第12回】	就業と家族－2  私人的領域・性別役割分業・社会保障制度 男女の就労と、性別役割分業・社会保障制度との関係について学び、今後の課題を考える。
授業計画 【第13回】	妊娠・出産・子育て－1  少子化・育児 我が国における少子化と育児の現状について学ぶ。
授業計画 【第14回】	妊娠・出産・子育て－2  生殖補助技術・養子親子 科学技術の発展や政策に着目し、子育てや親子関係を考える。
授業計画 【第15回】	個人・家族・親密性のゆくえ  国際結婚・LGBT 国際結婚・LGBTについて学び、多様化する家族の承認・包摂について考える。
授業の到達目標	1. 家族に関する個人の行動や社会現象を理解できるようになる。【知識・理解】 2. 家族や個人がおかれている社会的状況を理解できるようになる。【知識・理解】 3. 社会的な概念や理論を理解できるようになる。【知識・理解】 4. 自分が会おうさまざまな家族や個人の行動を分析できるようになる。【汎用的技能】 5. 家族生活・社会生活・社会問題を改善する方向性を示すことができる。【人間力、社会性、国際性】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外の学習 【予習】	授業中に次回の授業範囲を示すので、テキストを読んで概要をつかみ、わからない点を整理しておく。(約1時間) 引用・参考文献を読み、テーマや家族社会学の知見や発想について理解を進めておく。(約1時間)
授業時間外の学習 【復習】	各テーマ(各章)の終了時に小テストを実施するので、毎回授業内容を振り返り、要点を整理しておく。(約2時間)
課題に対する フィードバック	小テストは評価後、返却および解説をする。 定期試験は試験後に解説する。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 定期試験(70点) 2) 小テスト(30点)
テキスト	岩間暁子ら、2022、『問いからはじめる家族社会学――多様化する家族の包摂に向けて 改訂版』有斐閣。
参考書	教科書で紹介、引用されている諸文献。 アンソニー・ギデンズ、2009、『社会学』而立書房。 長谷川公一ら、2019、『社会学』有斐閣。
備考	